

性の多様性

■ 性は、男性と女性の2つ…？

人間は、男性と女性の2つに分けられ、それは身体の性(セックス)によって決まるという捉え方があります。しかし、身体の性だけが私たちの性別の認識の根拠なのでしょうか？ 例えば、性器がなくなったら、性別への認識や行動はどのくらい変わのでしょうか？

実際には、私たちの性のあり方は、身体的な要素だけでなく、社会的な捉え方や自分自身の認識が大きく影響しているのです。

そして、身体の性や性の認識・あり方は、男女の2つだけではなく、もっと多様なのです。

■ 身体の性について — インターセックス

ヒトの性別は、遺伝学的には性染色体がXXなら女、XYなら男と規定されます。しかし、ヒトの生殖腺、内性器、外性器の組み合わせには多様性があります。男と女の二分法の典型的なパターンに収まらない性をインターセックスと呼びます。インターセックスは、ヒトの性別が二分法で割り切れるような単純なものではなく、むしろ連続体(グラデーション)であることを示しているといえます。

※なお、最近では、インターセックスではなく、「性分化障がい」「性発達障がい」という言葉が、当事者や専門家の間で用いられるようになってきました。遺伝情報や内分泌の変異により、生殖器や泌尿器に分化や発達の障がいが生じているということをより適切に表現するためです。また、日本小児内分泌学会は「障がい」という言葉を用いず、「性分化疾患」という用語(染色体、性腺、または解剖学的性の発達が非典型的である先天的状態を指す医学用語)を提唱しています。

■ 性のありようのさまざまな側面 — 性自認／性役割／性的指向性

自分が女あるいは男であるという性的な自己認知、つまり性自認のことをジェンダー・アイデンティティ(性同一性)といいます。ジェンダー・アイデンティティは、単に性別の認知にとどまらず、「一人の人間が、男性、女性もしくは両性として持っている個性の、統一性、持続性、一貫性」(J.マナー、P.タッカー『性の署名』(1975年、邦訳1979年))という人格全体にかかわる内容としても捉えられており、精神医学の領域では、次の3つの構成要素に整理されています。

- 1) 中核性同一性:自分が男あるいは女であるという自己認知と基本的確信
- 2) 性役割:社会的・文化的レベルでの性別に基づく役割期待および役割遂行
- 3) 性的指向性:性的な興味、関心、欲望の対象が異性、同性、あるいは両性のいずれに向いているかという性的対象選択

自認している性と身体の性が一致しない状態を性同一性障がいといいます。「女性」「男性」以外の性自認をもつ人もいます。

性役割とは、言葉づかいやふるまい、服装、職業などについて、女性／男性にふさわしいあり方として社会でイメージされているもののことを指します。

性的指向性(性指向)が異性に向かう人のことを異性愛、同性に向かう人のことを同性愛といいます。また、性別を大きな基準としない(異性か同性かが重要ではない)バイセクシュアルの人もいますし、性指向が明確でない、またはない人もいます。

※性の好みという意味での「性的嗜好」とは異なります。

■ 性の多様性

私たちの社会は、男女のいずれかの典型的な特徴をもった身体をもち、身体の性と性自認が一致し、その性にふさわしいとされる振る舞い(性役割)を身につけ、異性を愛するという人を“ふつう”と捉えています。しかし、それは身体の性、性自認、性役割、性指向の組み合わせからいけば、ごく一部のパターンでしかありません。実際には性同一性障がい、同性愛やバイセクシュアルの人など、多様な性のありようがあります。

● ねらい

昨今、若年層の不就労問題=いわゆるニート問題(※)が注目されています。

世間的にはまだまだその実情を見つめるよりも、「怠け者」「自分勝手」等といったイメージや言葉だけが独り歩きしているところがあります。

このプログラムでは、青少年の置かれている社会状況を客観的に学ぶとともに、青少年の社会参加や自立への取り組みからも学びながら、イメージや言葉としての「ニート問題」から、多様性を認めあう「私たちのニート問題」としての認識への転換を図ることをねらいにしています。

● 基本概念

若者のエンパワメント、世代間の絆、ソーシャル・インクルージョン

● 時間

130分～160分

● 準備するもの

資料「ニート問題」(参加人数分)〈67ページ〉

ジャガイモ(参加人数分)

おでこに貼る数字の書いたシール(例えば、10・20・70、5・15・80、5・40・55など合計が100になるようにして参加人数分にする)

のり付きふせん紙(7～8cm角 参加人数分×20枚程度 ※多めにあったよい)

模造紙(グループ数)

マーカー(グループ数)

● プログラムの流れ

「私の大切なじゃがいも」

アイスブレイキングをかねて、ジャガイモを使った自己紹介を参加者どうして行います。

【アクティビティ】
ジャガイモで自己紹介

「ニートって何？」イメージを出しあおう

私たちの中にあるニート像を出しあってみましょう。

共通するものもあれば、新たなイメージの発見などがあるかも知れません。

この検討を通してニートに対するイメージを明らかにしながら、共通理解を図り、問題認識のスタートラインに立ちます。

【アクティビティ】
ニートって何？

※「ニート」とは、「Not in Education, Employment or Training (NEET)」という英国における造語であり、仕事に就いておらず、教育や職業訓練も受けていない若者を示します。日本では、15歳以上34歳未満で、配偶者がおらず、通学をおこなわず、仕事をしていない人(内閣府)や、15歳以上34歳未満で、通学や家事をおこなわず、仕事をしていない人(厚生労働省)という定義があります。